

アメリカ民主主義の危機



異例づくめの2024年大統領選挙

【会場】 明治大学駿河台キャンパス

グローバルフロント 1階グローバルホール

【日時】 2024年11月16日（土）（開場12時45分）

第1部 午後1時～2時40分

第2部 午後3時～4時20分

2024年大統領選挙は劇的な展開が続いた。分断が深まるアメリカ社会。有権者は何を求め、誰を大統領に選ぶのか。新大統領の外交政策は国際社会にどのような影響を及ぼすのか。

【プログラム】

・開会挨拶 総合司会・清原聖子（本学情報コミュニケーション学部教授）

・第1部 ～パネル討論～ 有権者が選択するのは“過去”か“未来”か？

【報告者】

清原聖子「“二つのアメリカ”とメディアの分極化」（情報コミュニケーション学部教授）

鈴木健「政治レトリックから見たアメリカ大統領選挙」（情報コミュニケーション学部教授）

兼子歩「ジェンダーの観点から見たアメリカ大統領選挙」（政治経済学部准教授）

下斗米秀之「移民政策をめぐる課題と展望」（政治経済学部准教授）

【討論者】 久保文明（防衛大学校長） ／ 【司会】 小川凜（情報コミュニケーション学部助手）

・第2部 ～講演会～ 新政権の外交・安全保障政策の展望
：国際協調重視か、孤立主義か？

【講演者】 久保文明（防衛大学校長） ／ 【司会】 清原聖子（情報コミュニケーション学部教授）



※対面・オンラインのハイブリッド形式です。

※注意事項：ご参加にあたっては、事前申込が必要です。

11月9日（土）までに右のQRよりお申込みください。



【主催・問い合わせ先】 明治大学大学院情報コミュニケーション研究科

HP https://www.meiji.ac.jp/dai_in/infocom/index.html

MAIL jokomiken@mics.meiji.ac.jp

【登壇者プロフィール】

久保文明

防衛大学校長、東京大学名誉教授。1956年生まれ。東京大学法学部卒、法学博士（東京大学）。慶應義塾大学・東京大学教授等を経て2021年より現職。コーネル大学等での客員研究員、パリ政治学院招聘教授、ウッドローウィルソン国際学術センター研究員、アメリカ学会会長等を歴任。主要著書に『アメリカ政治史』、『アメリカ政治史講義』、『フランクリン・ローズヴェルト』など。

鈴木健

明治大学情報コミュニケーション学部教授。ノースウエスタン大学よりコミュニケーション学博士 (PhD)。専門は政治コミュニケーション論とディベート研究。主編著書に、『政治レトリックとアメリカ文化—オバマに学ぶ説得コミュニケーション』（朝日出版社、2010年）、Political Communication in Japan: Democratic Affairs and the Abe Years (Cambridge Scholars Publishing, 2023年)。

清原聖子

明治大学情報コミュニケーション学部教授。慶應義塾大学より博士（法学）。フルブライト博士論文研究フェロー、安倍フェローとしてジョージタウン大学で研鑽を積む。情報通信学会・インターネット政治研究会主査。主要著書に『教養としてのアメリカ研究』（編著、大学教育出版、2021年）、Internet Election Campaigns in the United States, Japan, South Korea, and Taiwan（編著、Palgrave, 2018年）など。

兼子歩

明治大学政治経済学部准教授。北海道大学大学院文学研究科単位修得退学、文学修士（北海道大学）。専門はアメリカ社会史。主要著書に『「ヘイト」に抗するアメリカ史』（共編著、彩流社、2021年）など。共訳書に『クィアなアメリカ史（再解釈のアメリカ史・2）』（勁草書房、2023年）など。

下斗米秀之

明治大学政治経済学部准教授。明治大学大学院政治経済学研究科 博士（経済学）。専門分野はアメリカ経済史。主要業績に『現代アメリカ経済論—新しい独占のひろがり』（共著、日本評論社、2023年）、“Brain Drain from India to the U.S. during the Cold War: Focus on Technology Transfer and the Development of Highly Skilled Talent,”（『国際武器移転史』18号、2024年）など。

小川凜

明治大学情報コミュニケーション学部助手。修士（情報コミュニケーション学）。現在は鈴木健研究室所属の情報コミュニケーション研究科博士課程2年。専門は説得コミュニケーション論。研究テーマは、トランプ現象と陰謀論レトリック。